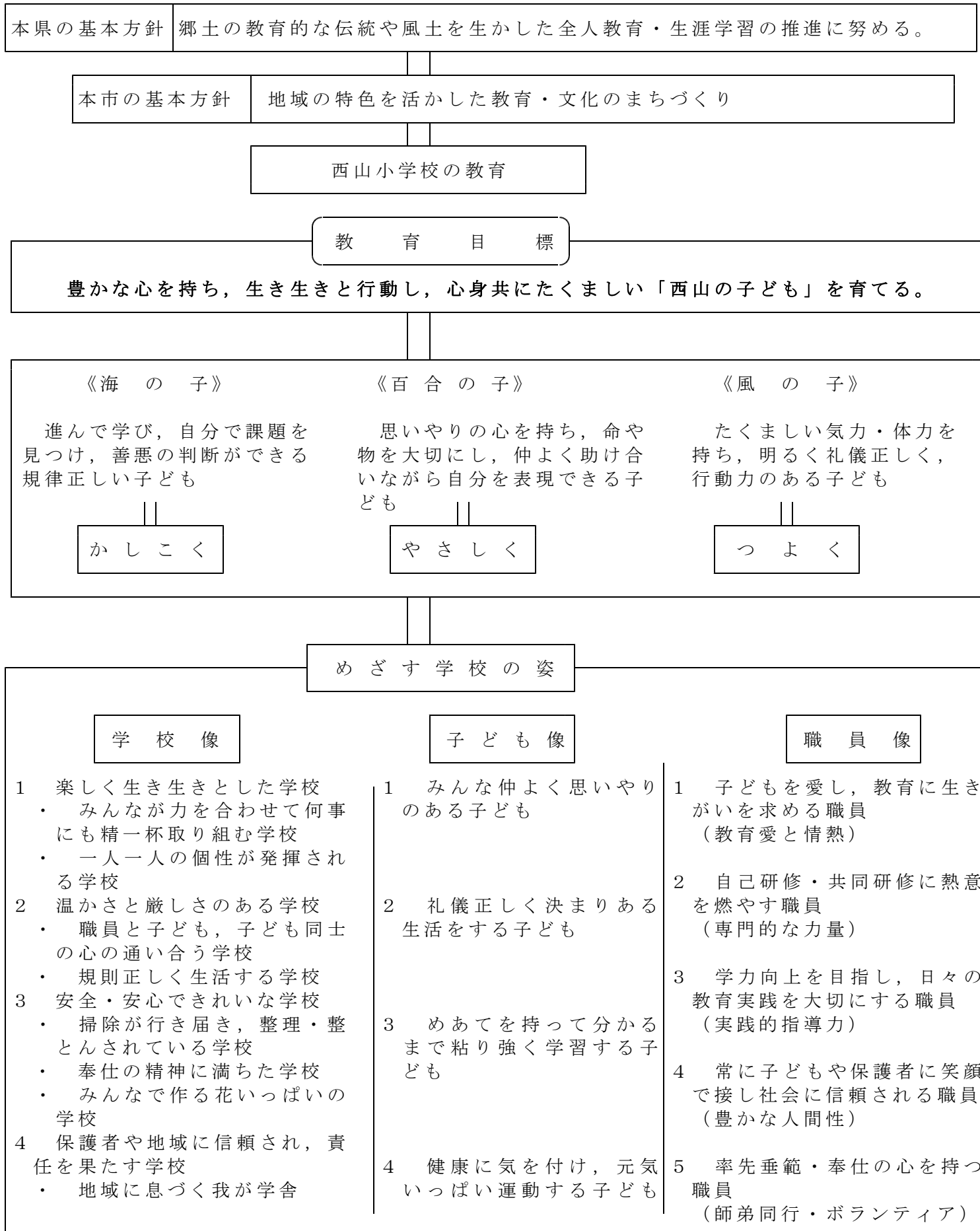


1 平成19年度 西山小学校の学校経営

1 経営の方針

日本国憲法，教育法令（教育基本法・学校教育法等）や条例・規則並びに県・市教育委員会の教育方針・重点施策に基づき，公教育の本質を踏まえ，本校の歴史と伝統を創造的に継承しつつ，生涯学習の基礎を培うという視点に立って，子ども・家庭・地域社会の実態に即して「徳・知・体」の調和のとれた人間性豊かで，たくましく生きる力をもった西山の子どもを育てる。

2 教育目標



3 努力点と具体的方策

努力点	具体的方策
学校経営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の基礎を培うという観点に立った学校の役割の明確化 ○ 校務分掌の機能化と指導態勢の確立 ○ 学校評価（内部評価・外部アンケート）の工夫・改善と活用 ○ 学年・学級・教科領域等での目標の具現化 ○ 「地域に息づく我が学舎」を目指す学校づくり
教育課程の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育課程の実施状況の確実な把握と改善・充実 ○ 地域のよさを生かした「総合的な学習の時間」の充実と評価（地域の素材・人材活用，触れ合い活動，伝承活動等） ○ 極小規模校の特性を生かした特色ある教育活動の推進
学級経営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもと先生,子ども同士の信頼関係の確立<ナポレオン留学生への配慮> ○ 思いやりの心を育て，一人一人の子どもを大切にする学級経営 ○ 成就感・所属感を味わえる学級経営の工夫 ○ 職員連絡会の充実と情報交換，共通実践
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力の確実な定着と学力の向上（N R T 5 1 以上，正答率 80 % 以上） ○ 教材研究の深化による目標の明確化と個に応じた指導及び補充指導の充実 ○ 授業改善「まとめ 10 分の改善」による授業の充実（ポストテストの工夫・改善） ○ 体験的な活動や問題解決的な学習を重視した授業の推進 ○ 指導と評価の一体化 ○ 小中連携による学力向上策の共通実践の推進
情報教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に応じた情報活用能力の育成 ○ 情報通信ネットワークを活用した教育活動の推進 ○ テレビ会議システム等による交流教育の推進 ○ ホームページの定期的更新
生徒指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導態勢の確立と学校・家庭・地域社会との緊密な連携 ○ 基本的な生活習慣の確立（あいさつ，早寝・早起き） ○ 子どもの主体性を育てる活動の充実（特活や行事等の運営と活性化） ○ 縦割り活動のよさを生かした活動の充実 ○ 教育相談や事例研究会の積極的推進 ○ いじめ問題や不登校，問題行動等に対する迅速で的確な対応
心の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値の内面化を図る「道徳の時間」の指導法の工夫・改善 ○ 道徳的実践力の育成と感動する心や思いやりの心の醸成 ○ 自他の生命を尊重する教育の推進 ○ 図書館利用学習及び読み聞かせ活動の充実と読書量の増大（一人 60 冊以上） ○ 師弟同行による清掃・美化活動の推進 ○ 教材園，一人 5 鉢等の充実と緑化活動の推進，地域緑化への協力 ○ 地域活動・奉仕活動への積極的参加の促進 ○ 高齢者や住民との触れ合い交流等による福祉・ボランティア精神の高揚
体力の向上と健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の運動，仲よし体育，教科体育，スポーツ少年団活動等での積極的指導による体力づくりの強化 ○ 健康相談や保健指導の充実 ○ 学校保健委員会や児童保健委員会の充実 ○ 安全教育の推進及び施設・設備等の安全管理の徹底 ○ 運動の生活化の促進
人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体を通じた人間尊重の精神の涵養と態度の育成 ○ 同和教育の視点に立った授業の実践と研修の推進 ○ 人権教育研修会等への参加奨励と報告会の実施

努 力 点	具 体 的 方 策
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育についての職員研修の充実 ○ 一人一人の子どもの実態把握(個人カルテ)と教育課程の工夫・改善 ○ 関係機関との連携と適正な就学指導の推進 ○ 保護者への理解啓発活動の推進と連携強化
国際理解教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や郷土を正しく理解する教育の推進と教材開発・人材活用 ○ 郷土の伝統芸能(シアター)・伝統行事等の伝承活動の推進 ○ 異文化に対する関心及び理解の促進を図る教育の推進 ○ 国際交流活動の推進 ○ A L Tとの連携及び中学校との連携による英語学習の充実
環境教育の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境教育の全体計画の改善と西山の豊かな自然の教材化及び環境教育の視点に立った授業の実践 ○ 各教科・領域等との関連を図った環境教育の推進と体験学習の推進
教育環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科や「総合的な学習の時間」を考えた学習環境の整備・改善 ○ 教室内外の学習環境の整備・充実 ○ 言語環境の整備 ○ 子どもに働きかける設営の工夫
研修態勢の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的・重点的な研修による教育課題の解明 ○ パソコンやテレビ会議システムの有効活用, T T, 習熟度別指導の充実と改善 ○ 一人1研究テーマの追究と教育論文への積極的応募
家庭・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者との緊密な連携による教育活動の推進 ○ 学級 P T A の充実と全員による P T A 活動の充実 ○ 子ども会育成会(健児団), コミュニティー協議会, 高齢者学級, 女性学級等との連携と協力 ○ 学期毎の外部アンケートの実施と結果説明及び協力等の依頼 ○ 学校存続のための諸団体との連携
学校事務の合理化と事務処理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務処理ルートの確立と迅速正確な事務処理及び適正な監査の実施 ○ 諸会計の正確な執行と記録

4 本年度の重点課題

- (1) 基礎学力の確実な定着と学力向上を図る。
- (2) 体力・気力の充実向上を図る。
- (3) あいさつの励行と思いやる心を育む教育を推進する。
- (4) 安全で安心できる学校づくりに努める。
- (5) 「地域に息づく我が学舎」を目指す学校づくりに努める。